

単元名 表を使って考えよう(1)

配当時間 2時間

単元の目標 (1) 表を使ってすべての場合を順序よく整理し、調べることができる。
 (2) 表を基にして、条件に合う場合を見付けたり、条件に合う場合のきまりを考えたりすることができる。
 (3) 表を使うことのよさに気づき、進んですべての場合を順序よく表に整理しようとする。

標準的な展開例

06040204_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 順序よく場合を調べ、条件に合った答えを求める。[p. 124]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の課題をつかむ。 ★ 表にかいて、問題を整理して考えよう。 ○ 「みんなで考える問題」を読み、ために何個か買ったことにして、大福の合計を出す。 ○ 表にかいて調べる。 ○ 題意に合う場合の数を表から読み取り、答えを出す。 ○ 70cmのひごを6cmと8cmに切る問題に取り組む。 <p>2 ある条件のもとで、すべての場合を順序よく調べ、問題を解決する。[p. 125]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ 表にかいて順序よく調べて、ちょうどよい場合をみつけよう。 ○ 「みんなで考える問題」を読み、題意をつかむ。 ○ 縦を仮に10枚並べたとき、面積はいくつになるかを考える。 ○ 縦の枚数を順に増やした場合の面積の変化の様子を、表にかいて調べる。 ○ 「練習問題」に取り組む。 ○ 題意に適合する場合を表から求め、分かったことを話し合う。 ○ 縦を仮に1枚並べたとき、面積はいくつになるかを考える。 ○ 縦の枚数を順に増やした場合の面積の変化の様子を、表に書いて調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一方の箱の数を決めると、残り的大福の数が決まることから、3個入りの箱を順々に増やして考えていけばよいことに気付かせる。 ・ 順序よく表に書いて調べれば、ちょうどよい場合を手際よく見付けられることに気付かせる。 <p>【評】数量を表に表して順序よく調べる活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 長方形の周りの長さの半分が11mであることを確かめさせる。 ・ 一人一人、図などをかいて確かめながら表を完成させる。 ・ Uの形の場合、縦の長さが2本作れることを確かめさせる。 ・ これまでの例にならい、表をつくることで、面積ができるだけ大きくなる場合を見付けさせる。 <p>【評】順序よく表に書いて調べ、適合する場合を見付けて問題解決する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p>

【 備 考 】

数量関係を整理し、条件に合う場合を調べて問題を解く思考法「順序よく調べ、ちょうどよい場合を見付ける」の学習を行う。ここでは、複数の場合があり、問題を順序よく落ちなく考えていき、条件に適する答えを選び出す。これまで学習してきた変化する数量の様子を表に書いてきまりを見い出す学習とは異なり、すべての場合を表に書いて、条件に合う解答を見付けていく。